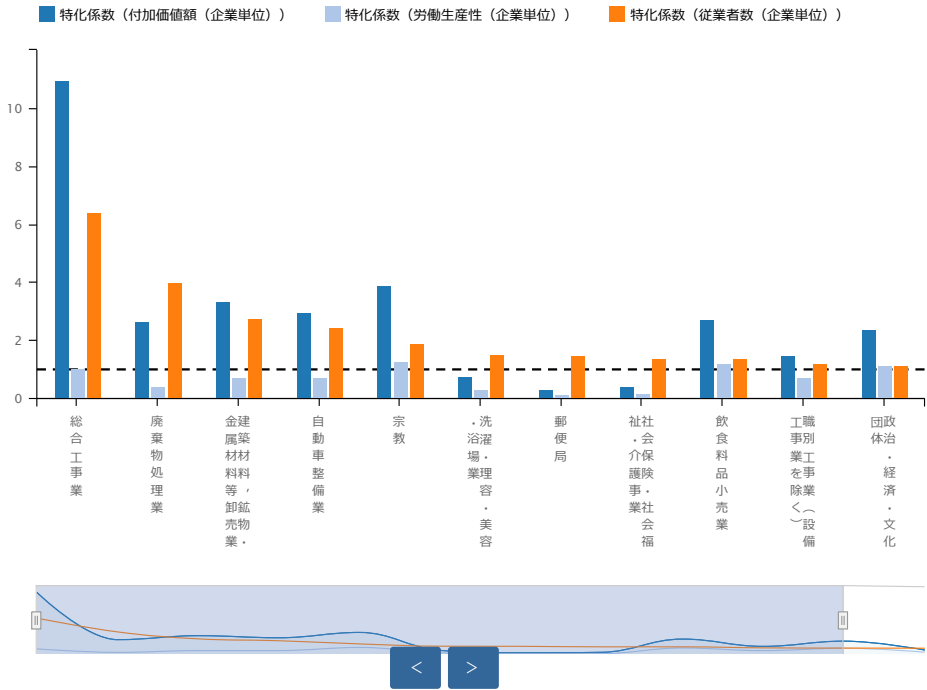


【目的】付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）の特化係数を確認し、稼ぐ力のある産業を把握しよう。

産業別特化係数
2021年

指定地域：山形県小国町



【出典】
総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

【注記】
特化係数：域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合
は、全国の当該産業の数値を1としたときの、ある地域の当該産業の数値。
特化係数の算出式は下記のとおり

- ・「特化係数（付加価値額）」
＝（域内における当該産業の付加価値額÷域内における全産業の付加価値額）÷（全国の当該産業の付加価値額÷全国全産業の付加価値額）
- ・「特化係数（従業者数）」＝（域内における当該産業の従業者数÷域内における全産業の従業者数）÷（全国の当該産業の従業者数÷全国全産業の従業者数）
- ・「特化係数（労働生産性）」＝（域内における当該産業の労働生産性）÷（全国の当該産業の労働生産性）

労働生産性＝付加価値額（企業単位）÷従業者数（企業単位）
付加価値額および労働生産性については、経理事項集計対象外企業を除外して集計。
平成24年経済センサス-活動調査においては、東日本大震災の影響で、以下の7自治体の調査は行っていない。
福島県楢葉町、福島県富岡町、福島県大熊町、福島県双葉町、福島県浪江町、福島県葛尾村、福島県飯館村
経済センサス活動調査では、各事業所（企業等）の産業分類を、売上（収入）金額の最も多い産業（主業）に格付けられているが、回答内容の不備等により産業分類の
格付けが十分に行なわれなかった事業所（企業等）についてはダウンロードデータに含めていない。ただし、上位分類の合計には含めているため内訳の合計と上位分類の
数値が一致しないことがある。
令和3年経済センサス-活動調査では、過去の調査では活用されていなかった「国税庁法人番号公表サイト」情報を利用して外観からの確認では把握が困難な事業所を加
えた調査名簿を基に調査が行われた。
このため、従来の活動調査よりも幅広く事業所を捉えており、時系列比較を行う際は十分に留意が必要である。

【参照メニュー】
産業構造マップ→全産業の構造

グラフ
の見た
地域内の産業について、付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）がそれぞれ全国と比べて特化（1を超えている）しているか否かを見ることで、産業ごとの課題把握に役立てる。
グラフは従業者数（企業単位）の特化係数が1を超えている産業について、従業者数（企業単位）の特化係数に基づき左から降順で並べたもの。